

I-3 さいがい そな 災害への備え

1. 台風

台風は7月から10月に発生する暴風雨のことです。

被害の可能性

- 風に飛ばされた物にあたりけがをする。
- 雨による土砂崩れ、洪水。
- 家屋の浸水。
- 停電。
- 電気で水道の給水ポンプのモーターを動かしている建物では水が出なくなる。

台風がくることは気象情報で予想できますので、気象情報に注意してください。

台風に備える

- ラジオ・テレビなどからの気象情報に気を配り、台風がいつどこを通るかを知っておく。
- 雨風が強くなったら屋外には出ない。
- 飲料水、乾燥食品、懐中電灯、携帯ラジオなど非常用品を入れたバッグを準備する。
- 近くの避難場所を知っておく。

2. 地震

日本は世界でも地震の多い国です。地震になると、地面が大きく揺れ、家具が倒れたり、家屋が倒壊する被害がでることもあります。また、場合によっては津波を引き起こすこともあります。

地震が起きたら

- ① 家や建物の中にいたら・・・
 - テーブルなどの下に隠れて落ちてくる物から身を守りましょう。
 - 揺れがおさまったらガスコンロ、ストーブなどの全ての火を消し、ガスの元栓を閉めてください。
 - 屋外に通じるドアを開け、出口を確保します。
 - エレベーターを使ってはいけません。
- ② 外にいたら・・・落下物から頭を保護してください。ブロック塀のそばや軒下などの場所に立たないでください。建造物のない広場など安全なところに避難してください。
- ③ 自動車を運転していたら・・・慌てずにゆっくりと安全を確認しながら、車を道の端に寄せて停車します。一度揺れが終わっても余震が発生する場合がありますので注意してください。

日頃の備え

- 家具や本棚などには転倒防止用の金具や鎖を取り付けてください。
- 花瓶や割れやすいものを棚や、寝室の枕元に置かないでください。
- 飲料水、乾燥食品、懐中電灯、携帯ラジオなど非常用品を入れたバッグを準備してください。

3. 災害に関する情報の入手

FM COCOLO	76.5MHz
NHKラジオ第1放送	666KHz
NHK総合テレビ	1CH

4. 避難場所

避難所とは、災害時に避難する場所です。あらかじめ自分の住む地域の避難所を確認しておきましょう。

あなたの地域の避難所は：